（記載上の注意）

「種別」には、資金移動業の種別を記載すること。ただし、特例対象資金移動業に係る履行保証金弁済信託契約を締結している場合には、当該特例対象資金移動業に係る資金移動業の種別を並べて記載すること。

11. 特定信託口口座による管理の状況

銀行等の商号又は名称	信託契約により受け入れた金銭の金額	特定信託口口座の残高	特定信託口口座の名義	特定信託口口座の口座番号その他の当該特定信託口口座を特定するための事項
	円 （　年　月　日現在）	円 （　年　月　日現在）		

（記載上の注意）

［1．・2．　略］

12. 特定信託受益権に係る信託契約により受け入れた金銭の一部を法第２条第９項の債券の保有により運用する場合における当該運用の状況

債券の種類	取得日	元本償還日	額面金額	時価
				円 （　年　月　日現在）

（記載上の注意）

１．第３面及び第４面は、資金移動業者が選択した履行保証金、履行保証金保全契約、履行保証金信託契約、履行保証人債務引受契約、履行保証人保証契約若しくは履行保証金弁済信託契約の内容又は預貯金等管理方法（特定信託会社にあっては、特定信託口口座。２．において同じ。）による管理の状況（特定信託会社にあっては、その発行する特定信託受益権に係る信託契約により受け入れた金銭の一部を法第２条第９項の債券の保有により運用する場合における当該運用の状況を含む。）について記載すること。

２．報告対象期間における要履行保証額の推移及び供託金額、信託財産の額、履行保証人債務引受額、履行保証人保証額、履行保証金弁済信託額若しくは履行保証金弁済信託契約に基づき信託されている信託財産の額又は預貯金等管理方法により管理している金銭の額（特定信託会社にあっては、その発行する特定信託受益権に係る信託契約により受け入れた金銭の一部を法第２条第９項の債券の保有により運用する場合における当該債券の額面金額及び時価を含む。）の推移が分かる書面を第４面の次に添付すること。

8．特定信託口口座による管理の状況

銀行等の商号又は名称	信託契約により受け入れた金銭の金額	特定信託口口座の名義	特定信託口口座の口座番号その他の当該特定信託口口座を特定するための事項
	円 （　年　月　日現在）		

（記載上の注意）

［1．・2．　同左］

［加える。］

（記載上の注意）

１．第３面及び第４面は、資金移動業者が選択した履行保証金、履行保証金保全契約若しくは履行保証金信託契約の内容又は預貯金等管理方法（特定信託会社にあっては、特定信託口口座。２．において同じ。）による管理の状況について記載すること。

２．報告対象期間における要履行保証額の推移、供託金額若しくは信託財産の額又は預貯金等管理方法により管理している金銭の額の推移がわかる書面を第４面の次に添付すること。